

令和7年度 改訂

学習の手引き



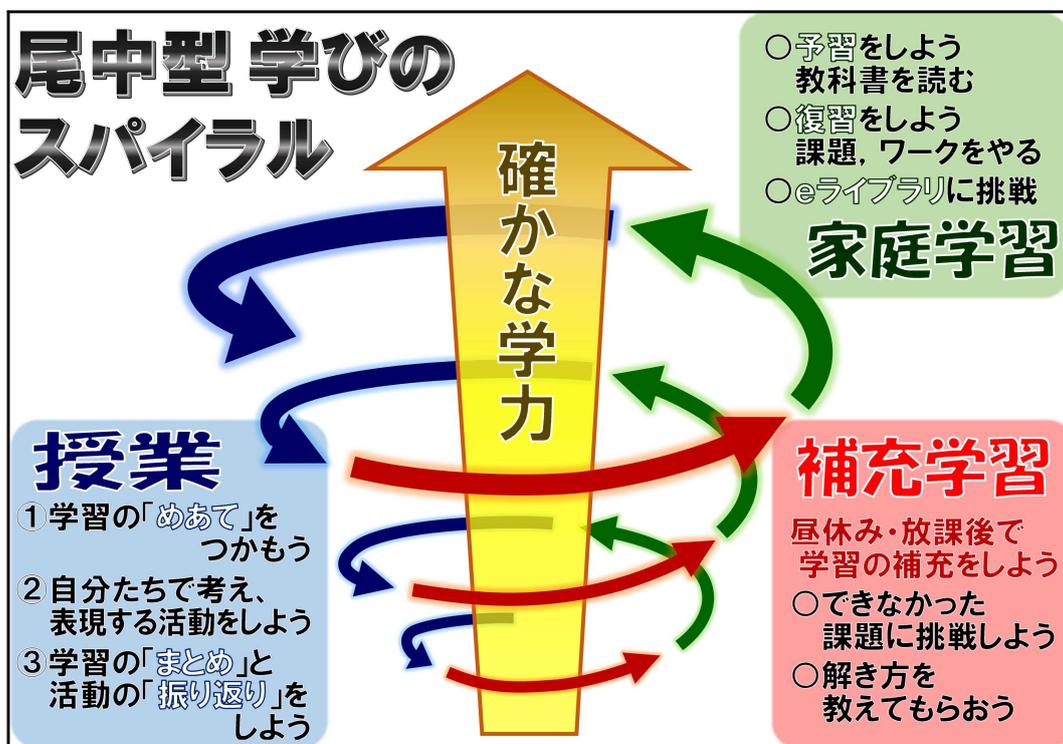
太田市立尾島中学校

氏名

学習の手引き

目次

授業について	…	1
家庭学習について	…	2
国語	……………	3
数学	……………	5
社会	……………	7
理科	……………	9
英語	……………	11



授業について

☆ 授業を大切にしよう

学校は、「自分の力を伸ばすため」にあり、その中心は何といても「**授業**」です。そして、授業はクラス全員で作上げるものです。楽しく充実した授業にするため、一人一人が与えられた課題について一生懸命取り組み、粘り強く考えてみましょう。そして、活発に意見交換し、自分の考えを深めましょう。



〈尾島中学校 授業の約束〉

尾島中学校の生徒として、確実に身に付けてほしい基本的な学習規律です。当たり前前のことが当たり前できるようにして、学力を伸ばしてください。

1 チャイム着席をしよう

- ・机の上には学習用具をきちんと出して、先生を待ちましょう。
- ・学ぶ構えをつくってから学習に入ることが大切です。教室移動は速やかに行いましょう。
- ・チャイムの鳴り終わりと同時に始まりの号令をかけましょう。

2 あいさつをしっかりしよう

- ・「お願いします」「ありがとうございました」のあいさつを大きな声で、顔を上げてからあいさつをしましょう。
- ・号令～「起立・注目・礼・着席」 当番は大きな声で言いましょう。

3 学習用具を忘れずに用意しよう

- ・生活ノートを活用し、前日に確認しておきましょう。

4 名前を呼ばれたら返事をしよう

- ・背筋を伸ばし、はっきりと返事をしましょう。

5 話し手を見て最後まで話を聞こう

- ・先生や友達の話は、話し手の方をしっかりと見て、姿勢を正してきちんと聞きましょう。
- ・私語は慎みましょう。

6 1時間の中で1回は発言しよう

《発言の例》

- ・全体の前で、自分の考えや意見、思いなどを発表する。
- ・ペアやグループで、発表、意見交流、話し合い、相談などをする。
- ・「分からない」「できない」ときは、分かる人に聞く。
- ・「分かった」「できた」ときは、分からない人に教える。
- ・自分の考え、思いをつぶやく。

7 集中してノートをとろう

- ・学習課題に集中し、復習がきちんとできるように、授業中の板書や気づきをしっかりとノートにとりましょう。



家庭学習について

〈家庭学習の5つの効果〉



1 学力の定着

- 学校の宿題に加え、予習・復習をしっかりとしましょう。

2 脳の活性化

- 人は1日で70%忘れてしまいます。繰り返し学習することで、脳を活性化（記憶力アップ）させましょう。

3 リズムある生活

- 家庭学習は習慣です。この習慣を確立し、メリハリある生活を目指しましょう。

4 根気・集中力アップ

- 自分に負けず、努力を積み重ねることで、根気や集中力が身に付きます。

5 授業の充実

- 明日の授業の予習を行うことで、授業が分かりやすくなり、楽しみになります。

〈家庭学習の5つのポイント〉



1 決まった時間に、決まった場所で学習する

- 毎日、決まった場所、時刻に学習を始め、決まった時間学習をしましょう。それを続けることで家庭学習習慣が身に付き、スムーズに学習に取り組めるようになります。

2 目標をもって学習する

- 「ワークを1ページ終わらせる」「自主勉強ノートを1ページやる」など、目標を持って学習することで、集中力や達成感が高まり、次への学習意欲が高まります。

3 最初に宿題をする

- 宿題は、学習内容の理解や定着につながります。家庭学習の最初にしっかり取り組みましょう。そして、提出期限を守りましょう。

4 集中して学習する

- 「テレビを見ながら」「音楽を聴きながら」という「ながら勉強」は集中力がとぎれて学習効果が上がりません。学習場所の整理整頓をしておくことも、集中して学習するために大切なことです。

5 体全体を使って学習する

- 教科書の音読だけでなく、繰り返し書いたり、まとめたり、読んだり、発音したりして、目・耳・口・手などをフルに活用して学習すると、効果的です。

☆ **復習**…復習をすると、学校で学んだことが自分の力になります。

（宿題を済ませる。自主勉強ノートに取り組む。ワークや問題集に取り組む。など）

☆ **予習**…疑問をもって翌日の授業に臨むと、授業が分かりやすくなり、楽しくなります。

（翌日学習する教科書のページを読む。分からないところに印をつける。など）

国語の学習について



国語の学習で身に付けたい力

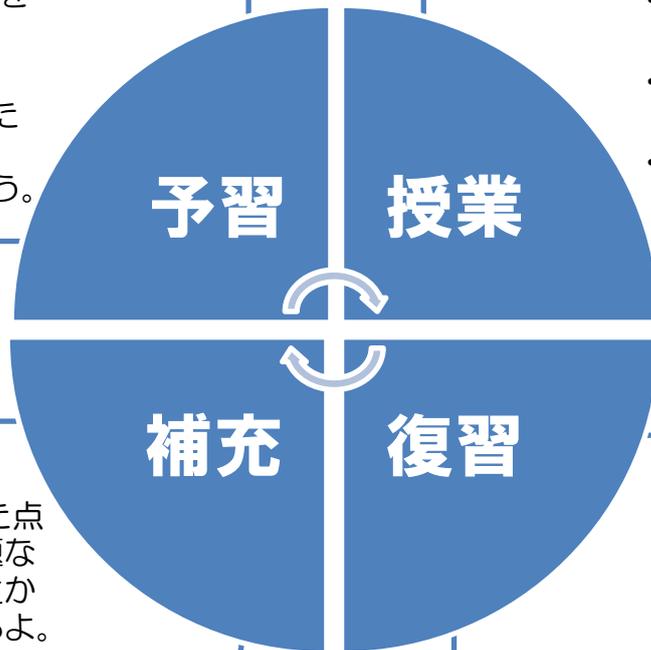
国語による**適切な表現力**・国語に対する**正確な理解力**・国語を使って**伝え合う力の向上**

1. 学習の流れ

- ・予習をすることで、自信を持って授業に臨めるよ。
- ・「これってどういうことだろう？」と疑問がわいたら、それは学びのチャンス！授業で質問してみよう。



- ・授業で分からなかった点や終わっていない課題などを、補充担当の先生から教わることができるよ。



- ・「受け身」ではなく、「自分から学ぶ！」
- ・後で見ても分かる丁寧なノート作りを心がけよう。
- ・教室でしかできない学びも大切にしよう(例：話し合い・発表をする、または聞く・群読・スピーチなど)。



- ・復習して分からなかったことは、次の授業や補充学習で質問してみよう。

2. 家庭学習のポイント

復習

◇ノートやワークシートを使って、授業内容を見直す（迷ったらこれ！）

【時間がある時】

違うノートに整理してまとめ直す。

【時間がない時】

ノートやワークシートを読み返す。

- ◇漢字ドリルやノートに漢字練習をする
- ◇教科書本文の音読練習をする
- ◇ワークや市販の問題集に取り組む

授業に臨むための
下準備

予習

◇教科書本文を読む

（黙読より、音読がおすすめ）

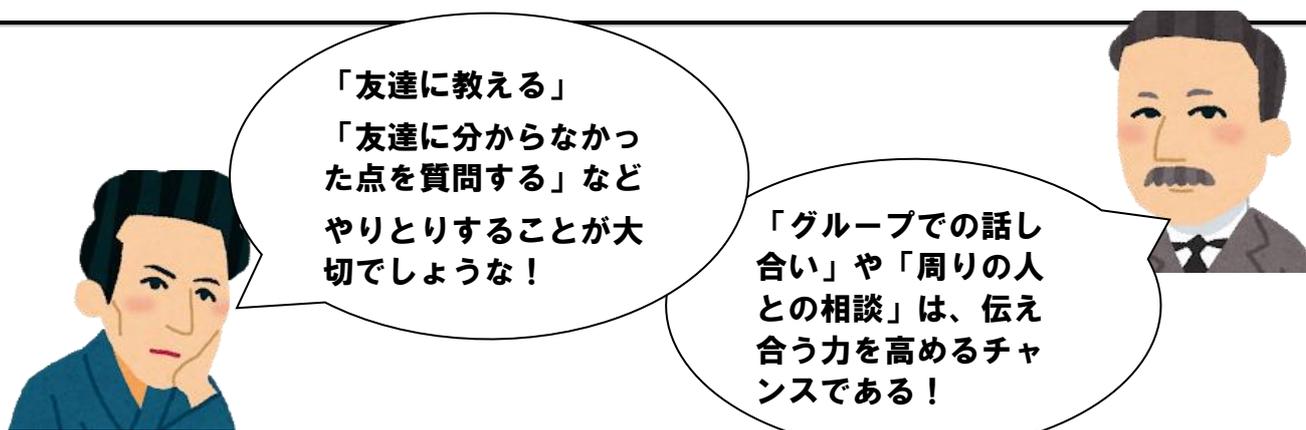
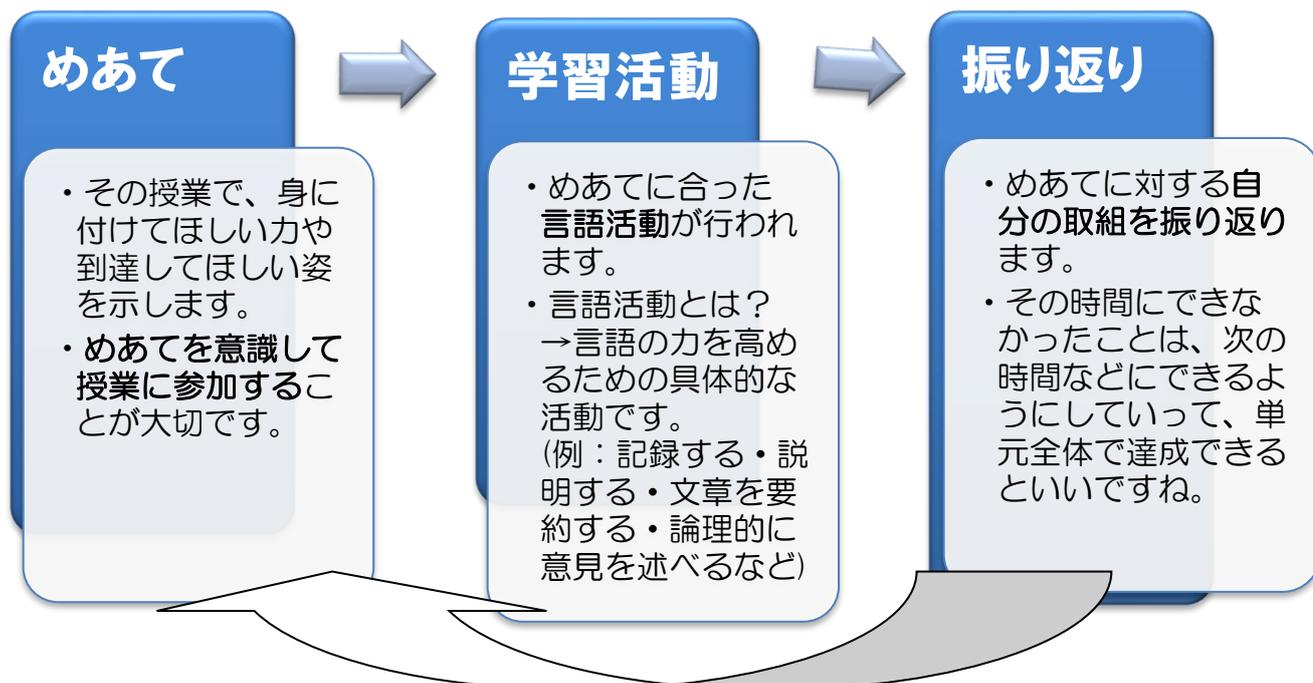
◇難しい語句の意味調べ

◇新出漢字の読みを確かめる

まずは、予習より復習がおすすめ！自分に合ったペースで取り組んで、授業でやったことを確実に理解しよう。



3. 授業の流れ



4. さらに力を伸ばしたい人へ

◆生活日記を毎日きちんと書く

分量はわずかですが、毎日継続するのは意外と大変だなと感じている人が多いのでは!?

一日の中で心に残ったことを三行程度でよいので、書き留めておきましょう。文章を書くことに慣れるし、自分の気持ちを言葉で表現する練習にもなります。

◆新聞記事のスクラップ

1面のコラムや2面の社説を切り取って、記事を150字程度に要約し、自分なりの感想を書いてみましょう。「要約」や「論述」の練習になります。

◆読書する

読書は、皆さんの言語力を高める強い味方です。活字の本が望ましいです。様々な本に触れ、様々な世界に出会いましょう。

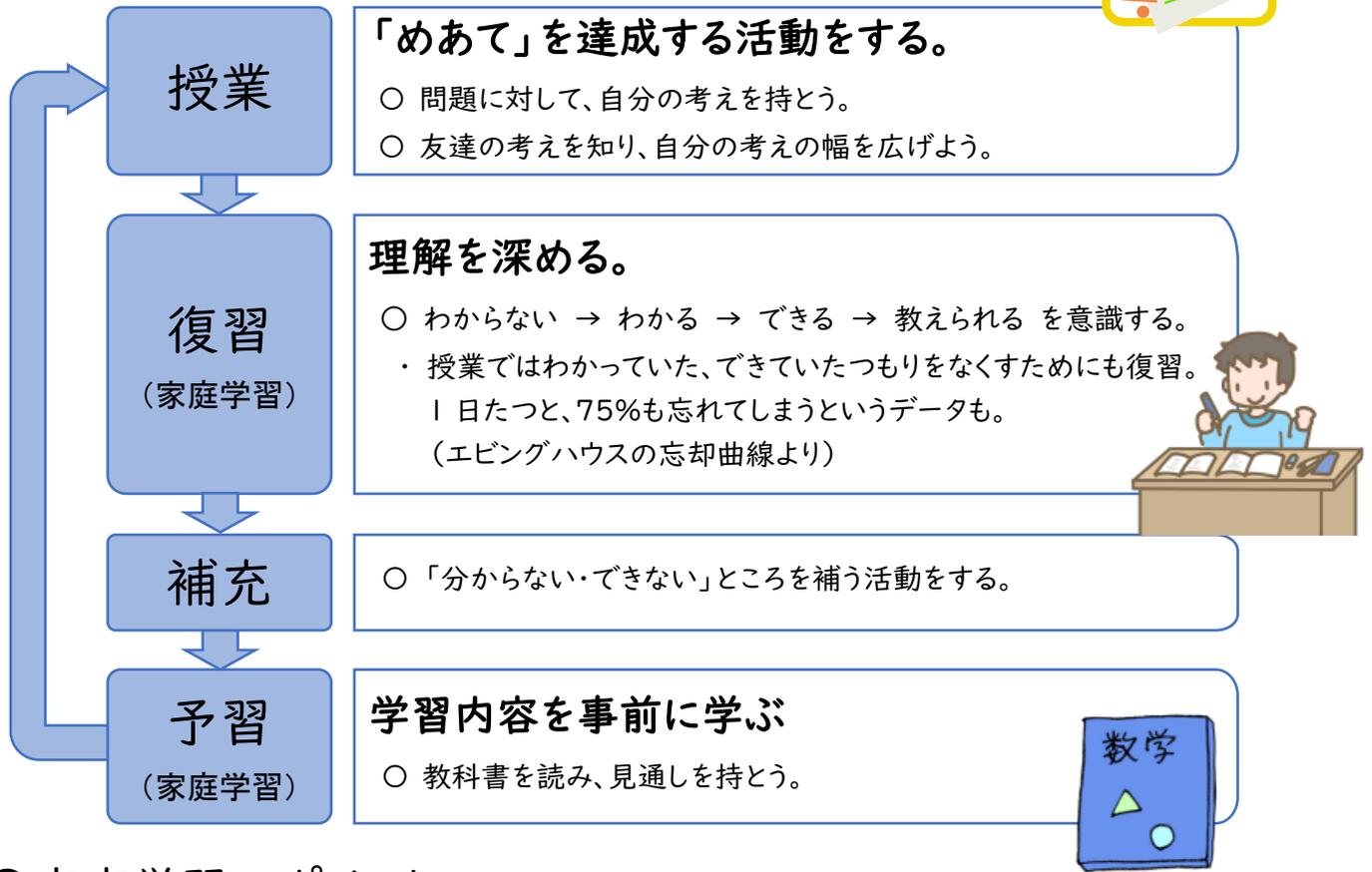


他にも知りたい人は、
国語科の先生に聞いてね！

数学の学習方法



○数学 学習の流れ



○家庭学習のポイント

家庭学習は主に「復習」と「予習」がありますが、数学では「復習」をメインに行っていきましょう。

☆ 復習の仕方

① 学校での授業終了

② 授業でやった同じ問題をもう一度解いてみましょう。

- ・まずは何も見ないでやってみよう！
- ・わからなかったら授業のノートを振り返ってみよう。

②、③は10分~20分
やれば十分。

ただし、授業があった
その日にやりましょう！

③ 授業と同じ内容の問題(類題)をワークで見つけて、解こう！

- ・解いたら、必ず答え合わせまでする。間違った問題は解答を見て、正しいやり方までチェックする。
- ・間違えた問題は、後でもう一度やり直そう。

問題の解き方が分
からない場合は、ワ
ークのQRコードを
タブレットで読み取
り、解説動画を見て
みよう。

④ 次の授業や豆テストにつながります。

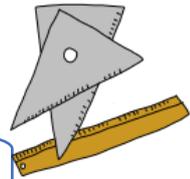
☆ 予習の仕方

授業前にどのような学習をするのか、教科書を一度読むくらいで十分です。
(余裕がある人だけで大丈夫です。)

○授業の流れ

めあて

1時間の授業で、身に付ける学習内容を示します。
(その時間でめあてがクリアできれば合格です!)



学習活動

- ・めあてを達成するために解き方を覚え、それを身に付けます。
- ・授業の中で、次の①～③の学習過程を大切にすることで、理解が深まります。
自分一人でわからなくても、周りの人から教わりましょう。
それが集団で学習するよさです。

- ① 自力解決(一人で考える)
- ② 小集団(周りの友達と一緒に考える)
- ③ 全体(班やクラス全体で考え方を共有する)



- ・反復練習
(何度も解き方が定着するまで、繰り返し解いて練習しよう!)

振り返り

その時間のめあてが定着したかを振り返ります。
不十分な場合には家庭学習(復習)につなげましょう!

ステップアップを目指す生徒は…

- ① 「教科書の巻末の補充の問題」や「eライブラリ」等を活用し、基礎問題の定着や発展問題、入試問題などにチャレンジしよう!



- ② 解けなかった問題はそのままにせず、友達に聞いたり先生に質問したりして解決していこう!

社会学習の流れ

予習 学習内容を事前に学ぶ

- 次の授業で学習するところの教科書を読む。分からないところや疑問点をチェックする。⇒[授業で解決する]
※音読すると、頭に残りやすいです。
- 資料集や地図帳に目を通す。
- 重要語句をチェックする。

家庭学習

復習 理解を深める

家庭学習

- 力を伸ばす学習をする。 **授業が分かった**
 - ・学習した範囲を自主勉強ノートにまとめる。
 - ・ワークの問題を解く。入試問題に挑戦する。
 - ・eライブラリに取り組む。
- 分かるための学習をする。 **授業が分からなかった**
 - ・教科書を読み、内容を再確認する。
 - ・重要語句を覚える。
 - ・ワークの問題を、解説を見ながら解く。
- 課題（宿題）をする。

授業 「めあて」を達成する活動をする

- 「なぜ」「どうして」の疑問から、「めあて」を設定する。
- 資料を活用し、学習課題に対する自分の考えをしっかりと持つ。
- 友達と交流しながら、様々な考えに触れる。
- 学習課題に対する答えをまとめ、自分の考えを深める。

学習内容を振り返って...

補充

- 「分からない・できない」ところを補う活動をする。

授業の流れ

めあて

- ・この時間に考えることはこれだね。
- ・自分から、今日の学習課題を見つけてみよう。

- ・学習した内容を、自分の力（言葉）でまとめてみよう。
- ・「めあて」の内容を説明できるかな。

めあてを達成する学習活動 (考え表現する活動)

- ・資料を活用して、自分の考えを持つ。
(理由や根拠を明確にしよう)
- ・友達と協力したり、話し合ったりしながら、様々な考えに触れ、学習課題に迫ろう。

まとめ 振り返り

- ・この時間を振り返り、自分の考えが広がり深まったかな。

「分からない・できない」ときは、分かる人に「聞く」
「分かった・できた」ことは、困っている人に「教える」
「分かる」ところまで、自分の考えを話す

分かる
できる

問題をたくさん解こう

- ワークや問題集を使いましょう。授業で学習した範囲の問題を繰り返し解いて理解を深めます。多くの問題に取り組み、**問題の傾向**や**解き方**をしっかりと身に付けよう。
- 「**eライブラリ**」を活用しよう。特に、「高校入試過去問データベース」がオススメ！解きたい単元で絞り込み検索をしてどんどんやってみよう。実践力が身に付きます。
- まずは、「**重要語句**」をしっかりと覚えよう。そして、授業で「豆テスト」があれば、全力で取り組もう。(満点が取れるまで何回も挑戦する)

反復練習が大切じゃ！



学力が伸びる人の条件

- 丁寧に取り組めること
- まじめなこと
- 挑戦できること
- 最後までやり抜けること

家庭学習の進め方

継続は
力なり!



復習

授業で学習した内容の理解を深めていこう

何するの？

授業の振り返りから、家庭学習する内容を決めよう。

さあ、やろう！
自学自習

やることが決まったら、集中して取り組もう。

授業が分かった	授業がよく分からなかった	まず宿題(課題)
ワークや問題集、eライブラリの問題を解く	重要語句を覚える 自主学習ノート	教科書を 読み返す
		提出期限までに必ず提出

次、どうする？

復習がバッチリだったら、予習に移ろう。

分からない問題、間違った問題があれば、もう一度挑戦してみよう。解答の解説を見ても分からない場合、友達や先生に聞いたり、補充学習で解決したりしよう。

明日の授業は
何をやるのかな？

- ・授業で学習するところの教科書を読む。
- ⇒ 教科書を読んでみて、分からないところや疑問点があったらチェックをしたか。また、重要語句をチェックしたか。
- 時間があれば、資料集や地図帳でも学習内容を確認する。
- ☆授業とは離れますが、毎日のニュースに関心を持ち、チェックしよう。そして、そのニュースに対して自分の考えが持てると「考える力」が身に付きます。

予習

授業

授業で積極的に活動しよう。分からないところがあったら補充を活用しよう！

学力向上の秘訣

《思考・判断・表現する力を鍛えるために》

○自分の考えをしっかり持ち、友達と考えと比較しよう！

- ・学習課題について、自分の考えをしっかりと持ちましょう。
- そして、友達と考えを比較しながら最終的に自分の考えをまとめましょう。

○「なぜ?」「どうして?」という疑問を持つよう!

- ・「群馬県は、なぜ冬に風が強いのか?」など、日常生活や社会的事象に疑問を持ち、調べる習慣をつけましょう。

○ワークなどの記述問題に繰り返し取り組もう!

- ・様々な問題を繰り返し行い、問題の傾向や答え方をしっかり身に付けましょう。

《資料を読み取る力を鍛えるために》

○資料に出会ったら次のことを確認しよう!

- ①題名は何か ②縦軸と横軸の数字は何を表しているか ③出典はどこか ④年度はいつか

○グラフを確実に読み取ろう!

- ・円、棒グラフではベスト3の確認、折れ線グラフでは、「何がいつ増えているか、減っているか」を確認し、そのことからどんなことが分かるのか考えましょう。

《知識の定着のために》

○重要語句を確認しよう!

- ・教科書に登場する重要語句(教科書の太字)は、きちんと漢字で書けるように確実に覚えましょう。意味の分からない語句は、調べて理解しておきましょう。

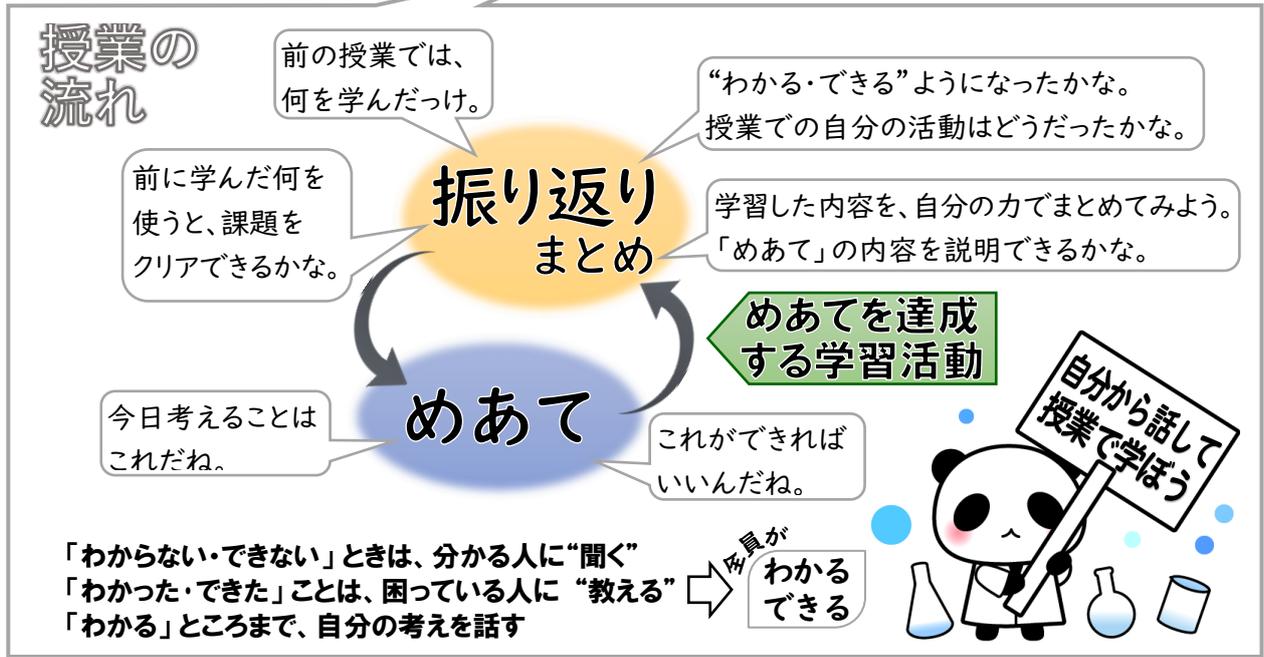
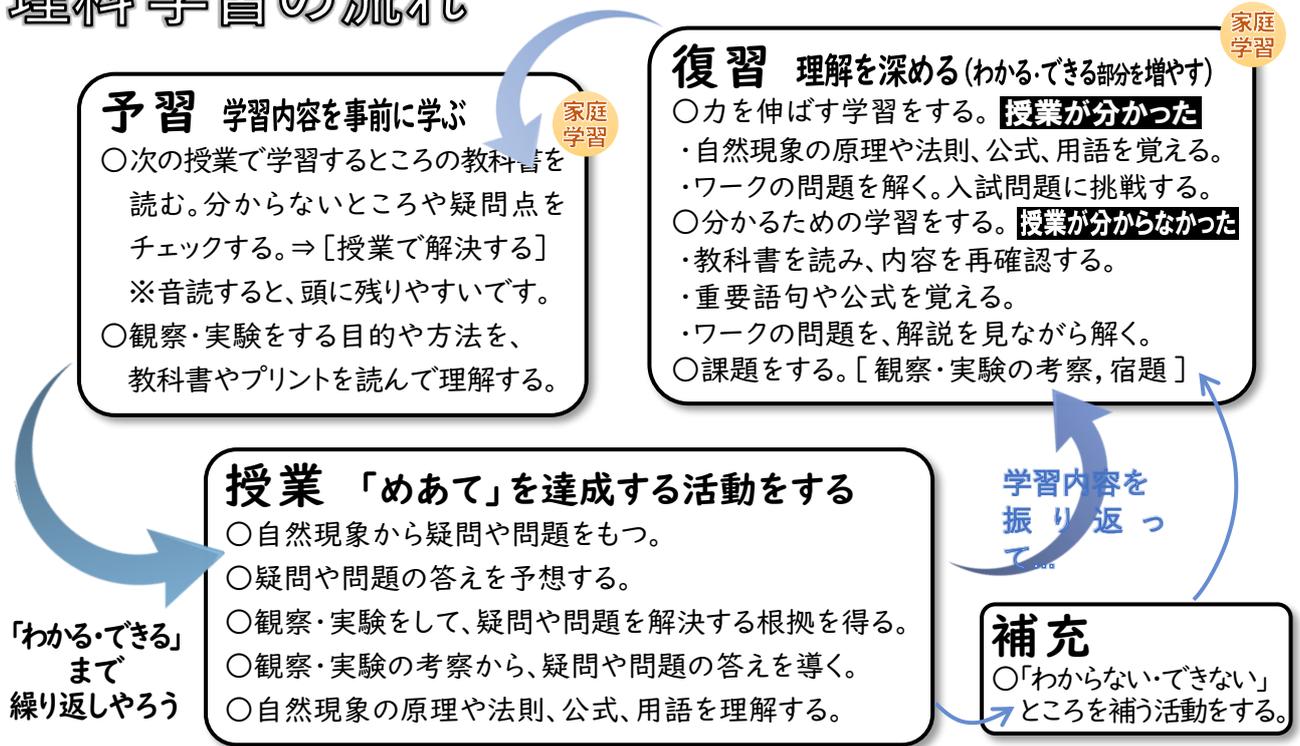
○年表や地図帳、資料集を活用しよう!

- ・知らない地名が出てきたら「地図帳」、歴史の時代背景の確認は「年表」、より詳しく知りたい場合は「資料集」を活用しましょう。

社会は楽しい。
好きになろう。



理科学習の流れ

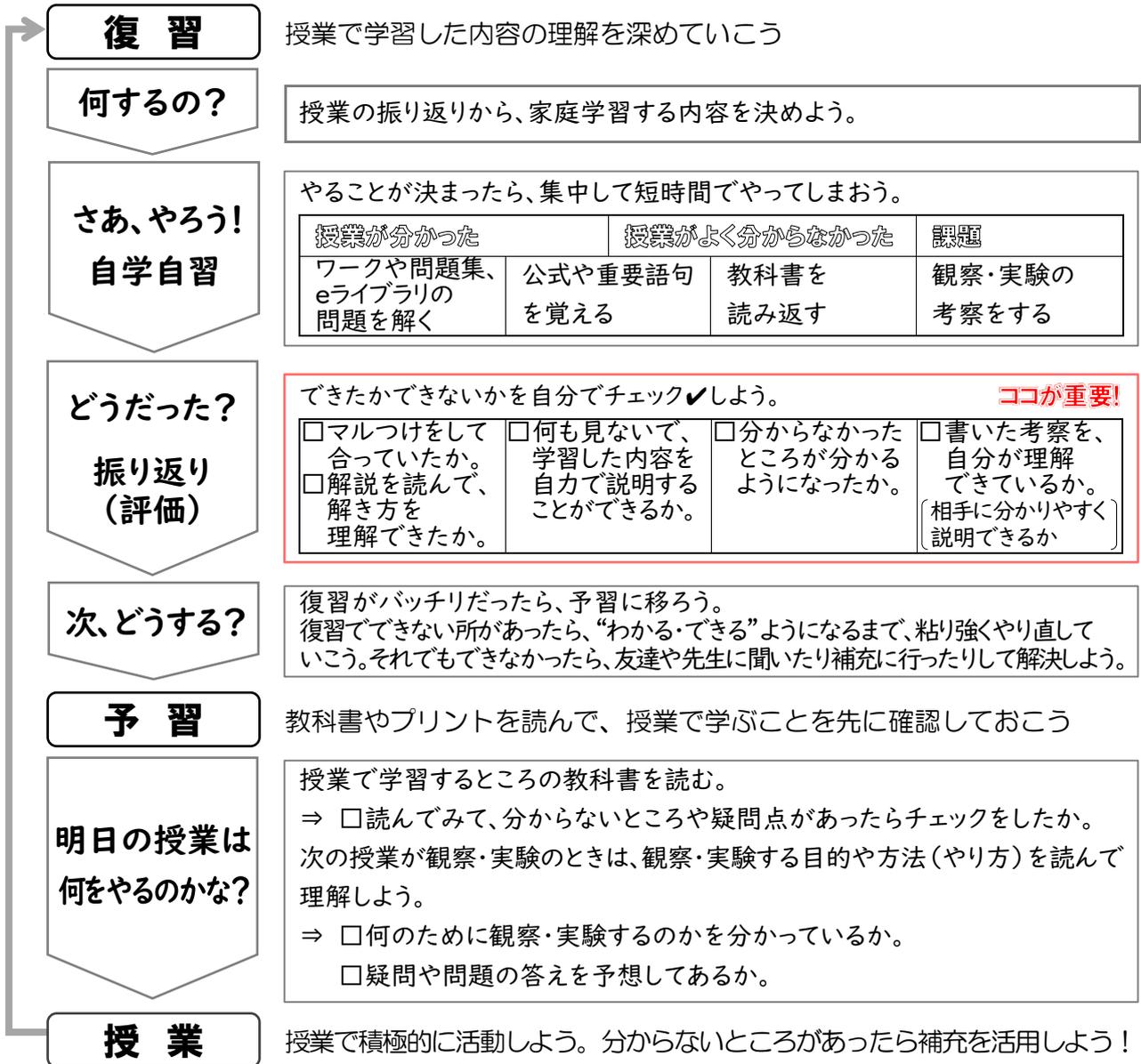


問題をたくさん解こう

- ワークや問題集を使いましょう。授業でやった範囲の問題を繰り返し解いて理解を深めます。たくさんやって、**問題の傾向**や**解き方**をしっかり身に付けましょう。eライブラリを活用しよう。特に、「**高校入試過去問データベース**」がおススメ! 解きたい単元で絞り込み検索をしてどんどんやってみよう。実践力が身に付くぞ。
 - 問題を解いたらすぐにマルつけをして、間違ったところや分からなかったところを直しましょう。やりっぱなしにしては、何の役にも立ちません。
- ※ 土台となる知識がないと、考えることも難しくなります。覚えなければならないものは、多少苦しく面倒でも繰り返しやって覚えていくしかありません。がんばろう。
- 部活動でも、上手になるために同じことをたくさん練習しますね。それと同じです。



家庭学習の進め方



観察・実験の結果と考察

- 結果とは、観察・実験を行ったときに起こった事実を書く部分です。**結果を正確に記入**しましょう。
- ・文だけで分かりづらいときは、図や表で表して規則性を読み取りやすくします。
- ・班のメンバーと共有し、**結果と考察はその日のうちに書きましょう。**(忘れ防止)
- 考察とは、結果から読み取れることを書く部分です。
- ・考察は「**観察・実験で確かめる問題・疑問**」に対する**答えの形**で書きます。**根拠を示して説明**できるようにしましょう。

基本形 **結果の○○から◇◇なので、△△と考える(が分かる)。**
○○…実験操作 ◇◇…実験結果 △△…考察



例) 発生した気体は、石灰水に通すと白くにごるので、二酸化炭素である。
 おもりの重さとはばねの伸びは、グラフで表すと原点を通る直線なので、比例関係である。

- ※観察・実験は活動できるから楽しい部分もありますが、**問題や疑問が出てきて、それを解決するために**行っていることを忘れないようにしましょう。
- ※教科書と違った結果になった場合、**違う結果になった原因を**考えることが大切です。

英語の学習方法

○英語学習の流れ



授業の目標を振り返り・分からなかったことは繰り返し学習する

☆英語の力をつけるためにすべきこと

- ①授業をしっかり受けること (学習規律)
 - ②予習と復習をしっかりやること
 - ③授業で「できるようになること」を確認し、Our project に向けて「できないこと」を何度もやり直す。
- 上のサイクルを守って学習することが必要!**

①予習のしかた

予習は授業を受ける上でとても重要になります。下の予習のしかたを参考に**必ず予習をして**授業に臨みましょう。予習として次のことをしてきてください。

1 新出単語調べ (下の例を参考に新しい単語を調べよう!!...できれば辞書がいいかな)

例 talk [トーク] 動 しゃべる、話す

2 本文をノートに写す (きれいに、少し行間を空けて)

3 本文を訳す (意味の分かるところは日本語にしてみよう)

基本本文をなぞり書きしよう ~New Words~ 新出単語を書こう! 〈文法事項〉 _____ _____	〈本文・日本語訳〉 _____ _____ _____ _____ 空いた所は黒板に書かれたことや、 単語練習に使いましょう。
---	---

大事なことは付箋にして、色を変えて書くと分かりやすいね!



☆黒板に書いていないことでも先生が強調し、自分が重要だと思うことはどんどんノートに記入しよう!

♪ノートが有効に使える人ほど学力は伸びるはずです。♪

②復習のしかた

1. 書けるようになるまで単語を練習しましょう！

単語は言葉を覚える上で基本中の基本になります。**授業用のノート以外に家庭学習用のノートを用意して、練習する、単語カードに書き込む**など工夫して単語を覚えましょう。テストで間違えたものをリストアップしておいてください。単語カードやノートにまとめておくとテスト前の練習で役立ちます。

2. ワークやプリントで文法や英語の表現を覚えましょう！

授業で学んだことをワークなどで復習しましょう。**答えはすぐにワークに書き込まず、何度か繰り返しできるような別のノートに書き込む**などの工夫をしましょう。繰り返しやることで表現を覚えることが容易になります。授業ごとの目標を確認して、振り返りシートで自己評価を参考に分からなかったところを重点的にやり直しましょう。

3. 教科書本文を何度も読んだり、書きたいして覚えましょう！

教科書の本文を覚えるくらい読んでみよう。そうするだけで英語の表現力はグ〜ンと伸びます。**覚えた表現や文法の単語を入れ替えれば簡単に表現は広がります。** Our project で使ってみよう！

③テスト前の勉強のしかた

【定期テストの前には】

日頃、復習をしっかりしている人はワークを繰り返し、授業で配られたプリントなどを振り返ること
で高得点がねらえるはず。日頃、復習をサボっている人は「②復習のしかた」を参考に猛勉強しま
しょう。

【実力テストや入試の前には】

自分にあった問題集を探して、それを何度も解こう。振り返りから間違いやすいリスト集をつくっておこう！

《問題集を選ぶときのコツ》

実際に中身をざっと見て、6割程度理解できる問題集がいいでしょう。デザインがいいものや絵やイ
ラストが多く載っているものも、楽しんで勉強できるかもしれません。

英語を理解する順番
①単語を覚える
②主語(誰が)と動詞(どうした)
の流れをつかむ
③文法を学ぶ

④その他自分でできる学習方法・学習のヒント

1. デジタル教科書を活用した家庭学習

(例)・音声を聴く

・音読をする

・動画の閲覧

・空欄補充

等

2. 自分の身近なもの (CM に出てきた表現や CD のタイトルなど) で気になった言葉を調べてみる。

自分の気になったことを調べることでその言葉は覚えやすくなります。授業でかけている CD とか。

3. 疑問が出てきたときや自分でやっても分からないことがあった場合は**先生に質問してみよう**。分から ないことを分からないままにしておくとどどんわからなくなってしまう。その前にしっかり 理解しましょう。そして、先生に聞いたことは付箋ふせんにしてノートにはっておくと覚えられます。

4. 単語は1回やったからといってずっと覚えていられるものではありません。**時間を空けて繰り返し やることでずっと覚えていられる**ものです。手間はかかりますが、しっかりとがんばりましょう。